

北海道防衛局次長による講話実施 ～北海商科大学～

平成26年5月23日（金）、北海道防衛局では北海商科大学において、当局杉本次長による講話を実施しました。

これは、当局の入札監視委員会委員でもある同大学の菊地均教授の御依頼を受け、前回、1月31日（金）に実施した同大学における当局次長の講話に引き続き、学生に多方面の話を聞かせることにより、教養の幅を広げることを目的に、また、当局としましても、防衛省・自衛隊の各種施策等について、より多くの方々に知っていただく良い機会と捉え実施したものです。

同大学は、札幌市の中心部に位置し、商学部を有する私立大学で、約700名強の学生が在籍しています。当日は、「地方防衛局の業務」と題し、北海商科大学第301教室において、約40名の学生が約50分間にわたる講話を熱心に聴講しました。

講話は、防衛省全体の組織の説明に始まり、続いて各地方防衛局の管轄区域、地方防衛局の組織について説明後、地方防衛局の主な業務について説明しました。各地方防衛局の管轄区域の説明においては、北海道から沖縄まで8つの地方防衛局が、それぞれの管轄区域で業務に当たっていることや地方防衛局の組織の説明においては、基本的な組織構成と全国約2,800名の職員が業務に従事していることなどを説明し、学生達は興味深く耳を傾けていました。

また、業務の説明では、先般、当局において作成した「防衛北海道 特別編集号—北海道防衛局の業務—」等を用い、当局次長自身の実体験も交えながら、地方協力確保事務や米軍訓練の支援など分かりやすく説明しました。

ほとんどの学生達は、地方防衛局の業務を承知しておらず、日頃聞けない話を聞いたことからか、終始、興味津々の様子で聴講しておりました。

講話は盛況のうちに終了し、講話終了後も公務員志望の学生が当局次長と歓談する姿が見受けられました。

北海道防衛局としましては、これを機会に、聴講された学生にとって、少しでも防衛行政を身近なものとして感じてもらえればと考えております。



北海道防衛局次長の講話風景



会場の様子



北海商科大学 菊地均教授